



## 2019年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年1月31日

上場会社名 リソルホールディングス株式会社  
 コード番号 5261 URL <https://www.resol.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼CEO (氏名) 平田 秀明  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 大澤 勝 TEL 03-3344-8861  
 四半期報告書提出予定日 2019年2月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年3月期第3四半期の連結業績（2018年4月1日～2018年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第3四半期	16,394	2.5	891	62.6	823	96.0	153	△44.5
2018年3月期第3四半期	15,987	△0.7	548	△44.9	420	△51.1	276	△48.8

(注) 包括利益 2019年3月期第3四半期 223百万円 (△21.2%) 2018年3月期第3四半期 283百万円 (△48.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第3四半期	27.58	—
2018年3月期第3四半期	49.73	—

(注) 2017年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期第3四半期	35,652	14,310	35.7	2,293.69
2018年3月期	34,910	14,476	37.2	2,335.92

(参考) 自己資本 2019年3月期第3四半期 12,740百万円 2018年3月期 12,975百万円

(注) 2017年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、「1株当たり純資産」を算定しております。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	0.00	—	70.00	70.00
2019年3月期	—	0.00	—		
2019年3月期（予想）				70.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2019年3月期の連結業績予想（2018年4月1日～2019年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,500	△9.1	1,300	△38.2	1,620	△21.2	1,570	10.9	282.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年3月期3Q	5,564,200株	2018年3月期	5,564,200株
② 期末自己株式数	2019年3月期3Q	9,743株	2018年3月期	9,545株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年3月期3Q	5,554,457株	2018年3月期3Q	5,555,169株

(注) 2017年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来性に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(日付の表示方法の変更)

「2019年3月期 第1四半期決算短信」より日付の表示変更を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(追加情報) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業活動が自然災害による影響から持ち直し、雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調で推移いたしました。その一方で、海外においては、米中間の貿易摩擦による世界経済の減速が懸念されるなど依然として先行きは不透明な状況が続いております。

このような経営環境下、当社グループにおきましては、新たな柱となる事業への挑戦や新しい施設の開業、新マーケットの開拓などに取組みました。また、各事業において、「リソルスタイル」を徹底させるなど、お客様の満足度向上を図りました。

ホテル運営事業では、本年6月に「ホテルリソル京都 河原町三条」、8月に「ホテルリソル京都 四条室町」、10月に「ホテルリソルトトリニティ京都 御池麩屋町」の3施設の運営を開始しました。また、レベニューマネジメントの活用で収益性向上を図り、ビジネス・観光需要の取り込みやインバウンドの集客強化に努めました。リゾート部門においてはローカルから全国へ営業戦略の拡大を図りました。

ゴルフ運営事業では、お客様の利便性向上を図るため、受付の無人化とポイント付与・利用を一体化した自動精算機を導入開始しました。また、ゴルフ場に幅広い利用者を取り込むため、初心者向けの「はじめてのゴルフ」等の施策に取り組みました。ゴルフ以外の楽しさを提供するバンケット事業では、地元食材や健康メニューなどを取り入れたビュッフェメニューやイベント企画によりゴルファー以外のレストラン利用の集客強化に努めました。

CCRC事業では、千葉大学及び長柄町と提携し「リソル生命の森」で推進する「大学連携型CCRC」の地方創生推進事業において、健康寿命延伸プログラムの質・量の充実を図りました。また、一部コテージエリアのログハウスをフルリニューアルし、お客様の満足度アップを図りました。

福利厚生事業では、顧客ニーズに合わせたシステムの合理化を実施いたしました。また、新規業務提携を積極的に進め、会員サービスマニューの拡充を図るとともに、会員専用WEBサイト「メンバーズナビ」の利便性を向上させ利用率のアップを図りました。

再生エネルギー事業では、太陽光設備等の販売用不動産を売却しました。また、福島県では2019年度の売電開始に向けて約37メガワットの太陽光発電事業の大型開発工事が進んでいます。

不動産関連事業では、リゾート不動産の仲介・転売分野で保養所物件の再生・活性化を進め、人気リゾートエリアの優良物件を厳選して仕入れ強化を図り、ペット&スパホテル用施設として伊豆高原の物件を購入しました。また、「暮らす」ように「泊まる」という理念のもと、短期から長期滞在まで旅のスタイルにあわせた快適な別荘ライフを提案する「リソルステイ」の外部販売を開始しました。

以上により、当第3四半期連結累計期間は、ホテル運営事業において新規施設の運営開始や太陽光設備等の販売用不動産の売却等により、売上高は、16,394百万円（前年同期比2.5%増）、営業利益は891百万円（前年同期比62.6%増）、経常利益は、823百万円（前年同期比96.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は特別損失の計上、連結子会社の法人税等調整額の計上等により153百万円（前年同期比44.5%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、35,652百万円となり、前連結会計年度末に比べて742百万円増加しております。これは主に有形固定資産の増加等によるものであります。負債につきましては、21,342百万円となり、前連結会計年度末に比べて908百万円増加しております。これは主に固定負債「その他」（長期リース債務）の増加等があったことによるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期の業績は、予定通り推移しており、2018年5月11日に公表しました「平成30年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」に記載の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	2,438,249	1,794,252
売掛金(純額)	1,702,797	1,136,167
商品	112,194	93,700
販売用不動産	2,000,460	1,185,585
貯蔵品	99,526	126,762
未収入金(純額)	517,220	770,479
その他(純額)	1,329,822	2,681,779
流動資産合計	8,200,271	7,788,726
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物(純額)	4,305,098	4,341,519
土地	15,993,147	16,170,722
その他(純額)	774,751	1,580,686
有形固定資産合計	21,072,998	22,092,928
<b>無形固定資産</b>		
のれん	1,686,774	1,574,718
その他	396,745	428,095
無形固定資産合計	2,083,519	2,002,813
<b>投資その他の資産</b>		
投資その他の資産合計	3,553,438	3,768,159
固定資産合計	26,709,956	27,863,901
資産合計	34,910,228	35,652,628

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	823,543	794,777
短期借入金	1,300,000	3,100,000
1年内返済予定の長期借入金	1,956,820	2,229,580
未払法人税等	659,608	140,797
賞与引当金	133,597	90,524
役員賞与引当金	15,000	—
その他	2,071,702	2,229,806
流動負債合計	6,960,271	8,585,485
固定負債		
長期借入金	6,805,500	5,575,535
預り保証金	5,234,736	5,059,231
退職給付に係る負債	534,266	531,447
従業員特別補償引当金	64,250	63,200
資産除去債務	101,305	166,845
その他	733,055	1,360,606
固定負債合計	13,473,114	12,756,865
負債合計	20,433,385	21,342,350
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,948,088	3,948,088
資本剰余金	2,401,700	2,401,700
利益剰余金	6,359,105	6,123,487
自己株式	△22,137	△22,985
株主資本合計	12,686,756	12,450,290
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5	△4
土地再評価差額金	299,476	299,476
退職給付に係る調整累計額	△10,987	△9,539
その他の包括利益累計額合計	288,494	289,933
非支配株主持分	1,501,591	1,570,053
純資産合計	14,476,842	14,310,277
負債純資産合計	34,910,228	35,652,628

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
売上高	15,987,740	16,394,199
売上原価	6,142,657	5,857,636
売上総利益	9,845,083	10,536,562
販売費及び一般管理費	9,296,623	9,644,972
営業利益	548,460	891,590
営業外収益		
受取利息	1,318	8
受取保険金	4,063	9,665
その他	38,952	51,755
営業外収益合計	44,334	61,429
営業外費用		
支払利息	79,884	69,140
支払手数料	54,213	53,172
その他	38,595	7,457
営業外費用合計	172,693	129,770
経常利益	420,100	823,249
特別利益		
特別利益合計	—	—
特別損失		
事業所整理損	9,493	—
固定資産除却損	1,825	5,608
従業員特別補償引当金繰入額	9,540	97,500
貸倒引当金繰入額	—	65,255
解約違約金	62,131	—
その他	3,498	15,335
特別損失合計	86,488	183,699
税金等調整前四半期純利益	333,612	639,549
法人税、住民税及び事業税	85,786	191,890
法人税等調整額	△33,777	225,989
法人税等合計	52,008	417,880
四半期純利益	281,603	221,669
非支配株主に帰属する四半期純利益	5,347	68,462
親会社株主に帰属する四半期純利益	276,256	153,207

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
四半期純利益	281,603	221,669
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	21	△9
退職給付に係る調整額	1,495	1,447
その他の包括利益合計	1,516	1,438
四半期包括利益	283,119	223,108
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	277,772	154,646
非支配株主に係る四半期包括利益	5,347	68,462



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(表示方法の変更)

(四半期連結損益計算書関係)

前第3四半期連結累計期間において区分掲記しておりました「営業外収益」の「債務消却益」は金額的重要性が乏しくなったため、当第3四半期連結累計期間より「営業外収益」の「その他」に含めて表示しております。

この結果、前第3四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書において「営業外収益」の「債務消却益」に表示していた915千円は、「営業外収益」の「その他」に表示していた38,037千円から38,952千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自2017年4月1日 至2017年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント							調整額 (注①)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注②)
	ゴルフ 運営事業	ホテル 運営事業	CCRC事業	福利厚生 事業	再生 エネルギー 事業	不動産関連 事業	計		
売上高									
(1) 外部顧客への 売上高	4,433,195	6,341,034	2,198,571	757,392	162,384	2,095,162	15,987,740	—	15,987,740
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	4,433,195	6,341,034	2,198,571	757,392	162,384	2,095,162	15,987,740	—	15,987,740
セグメント利益 又は損失(△)	372,261	1,174,629	81,775	△639,234	50,660	443,778	1,483,870	△935,410	548,460

(注) ①. セグメント利益又は損失(△)の調整額△935,410千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

②. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日 至2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント							調整額 (注①)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注②)
	ゴルフ 運営事業	ホテル 運営事業	CCRC事業	福利厚生 事業	再生 エネルギー 事業	不動産関連 事業	計		
売上高									
(1) 外部顧客への 売上高	4,308,275	7,063,740	2,166,149	1,083,911	1,535,588	236,533	16,394,199	—	16,394,199
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	4,308,275	7,063,740	2,166,149	1,083,911	1,535,588	236,533	16,394,199	—	16,394,199
セグメント利益 又は損失(△)	344,534	1,136,209	64,824	△231,914	520,635	△12,352	1,821,937	△930,346	891,590

(注) ①. セグメント利益又は損失(△)の調整額△930,346千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

②. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。